



(注1) 本様式は、主たる事業（最近1年間の売上高等が最も大きい事業）が属する業種（主たる業種）が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の売上高等の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) \_\_\_\_\_には、主たる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。

(注3) \_\_\_\_\_には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

塩谷産第 \_\_\_\_\_ 号

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日から令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日まで

塩谷町長 見形 和久

[中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イ-⑤）の計算書]  
 〈前年と比較して売上高が5%以上減少している場合〉

申請者

氏名 \_\_\_\_\_ 印

（表1：事業が属する業種毎の最近1年間の売上高）

当社の主たる事業が属する業種は \_\_\_\_\_ (※1)

業種	最近の売上高	構成比
業	円	%
業	円	%
業	円	%
業	円	%
全体の売上高	円	100%

※1：最近1年間の売上高が最大の業種名（主たる業種）を記載。主たる業種は指定業種であることが必要。

※2：業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

（表2-1：主たる業種の売上高比較（最近1か月））

区分	主たる業種の最近1か月の売上高 年 月	主たる業種の最近1か月の前年同期の売上高 年 月
月	[A] 円	[B] 円

（表2-2：主たる業種の売上高比較（[A]の期間後2か月））

区分	主たる業種の[A]の期間後2か月の見込 売上高 年 月～ 年 月	主たる業種の[A]の期間後2か月の前年 同期の売上高 年 月～ 年 月
月	円	円
月	円	円
合計	[C] 円	[D] 円

（表3-1：全体の売上高比較（最近1か月））

区分	企業全体の最近1か月の売上高 年 月	企業全体の最近1か月の前年同期の売上高 年 月
月	[A] 円	[B] 円

（表3-2：全体の売上高比較（[A]の期間後2か月））

区分	企業全体の[A]の期間後2か月の見込 売上高 年 月～ 年 月	企業全体の[A]の期間後2か月の前年同 期の売上高 年 月～ 年 月
月	円	円
月	円	円
合計	[C] 円	[D] 円

(イ)① (最近1か月の主たる業種の売上高の減少率)

$$\frac{([B] \text{ 円}) - ([A] \text{ 円})}{([B] \text{ 円})} \times 100 = \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【5%以上】}$$

② (最近1か月の全体の売上高の減少率)

$$\frac{([B] \text{ 円}) - ([A] \text{ 円})}{([B] \text{ 円})} \times 100 = \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【5%以上】}$$

(ロ)① (最近3か月の主たる業種の売上高の減少率)

$$\frac{([B] + [D] \text{ 円}) - ([A] + [C] \text{ 円})}{([B] + [D] \text{ 円})} \times 100$$

$$= \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【5%以上】}$$

② (最近3か月の全体の売上高の減少率)

$$\frac{([B] + [D] \text{ 円}) - ([A] + [C] \text{ 円})}{([B] + [D] \text{ 円})} \times 100$$

$$= \underline{\hspace{2cm}} \% \text{【5%以上】}$$

(注) 認定申請にあたっては、主たる業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等(例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など)や、上記の売上高が分かる書類等(例えば、試算表や売上台帳など)の提出が必要。